

笑顔と

神奈川県立金沢養護学校

やさしい心



# 学校だより

かなざわ

第 188 号 令和 5 年 3 月 24 日



春の訪れを実感できる季節になってきました。本日修了式を実施し、今年度の教育活動も最後となりましたが、この1年間を振り返りますと、感染症拡大防止に努めながらも修学旅行や宿泊学習、校外学習などの校外での活動を概ね計画通りに実施できたことはよかったと考えています。子どもたちが自立と社会参加に向けた基礎的な力を身に付けていくためには、学校から出て地域で学習を積み上げることがとても大切です。学校の中だけでは学ぶことができない多くのことを経験し、子どもたち一人一人が豊かに生きるための力を身に付けていってほしいと考えています。

また、保護者の皆様や関係機関、地域の皆様の御理解と御協力により、多くの充実した教育活動を実施できました。心から感謝を申し上げます。

## ～ 卒業生の皆さん、卒業おめでとう ～

さて、3月10日（金）には高等部、3月17日（金）には小学部と中学部の卒業式が行われました。高等部は午前と午後に分散し、小学部と中学部も午前と午後に分けて実施しました。卒業生一人一人が卒業証書を受け取り、その姿はとても立派でした。



卒業生の皆さんは、小学部、中学部、高等部で多くのことを学び、できることが増えてきました。これからも自分の強みをいかし、新しいことにも自信をもって挑戦してほしいと思います。金沢養護学校のモットーである「笑顔」と「優しい心」を忘れず、周りにいる仲間と支え合い、助け合いながら自分らしく新しい道を歩んでほしいです。

## ～ 「金沢養護学校」 から 「金沢支援学校」 へ～

本校は、平成19年の開校以来「金沢養護学校」として、保護者や地域の皆様の御支援をいただきながら教育活動を行ってまいりましたが、令和5年4月1日からは、「金沢支援学校」に校名が変更されることになりました。校名が変わるだけでなく、支援学校として、これからも共生社会の実現に向け、地域における支援機能を更に発揮し、児童・生徒の自立と社会参加に向けた、教育内容の一層の充実を図ってまいります。



また、地域の皆さま、保護者の皆さま、関係諸機関の皆さまとのより一層の連携を進めながらよりよい学校運営を進めていきたいと思っておりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

校長 福田 裕志



小学部A部門

授業紹介

中学部B部門



### 小学部A部門

小学部A部門5・6年生のずこうの授業を紹介します。ずこうでは、「季節感や行事に触れてのもの作り」や「家に持ち帰っても使えるものを作る」をコンセプトにしています。今年度は、連絡帳のしおりやリースなどを作りました。2月は連絡帳を綴じ込む用のしおり作りをしています。工程は2学期に作った連絡帳のしおり作りと同じですが、1学期に取り組んだ模様遊びの工程も加えて、「今までやってきた方法で新しい作品を作る」ことで、「できるかも!」「できた!」という感覚を味わっています。



### 中学部B部門

中学部B部門では、個別面談の日程に合わせて『中学部B部門作品展』をプレイホールで開催しました。今回は、2年生の展示にスポットを当ててご紹介します。2年生の美術では、1年を通して「季節感や日本古来の行事を大切にすること」と「友だちと協力して制作すること」をコンセプトに活動に取り組んできました。梅雨は「あじさいとカタツムリ」、真夏は「打ち上げ花火」、秋は「満開のコスモスと虫たち」の壁紙を作りました。ひとりひとりが作った花火を模造紙2枚分の夜空に打ち上げることで、壮大な景色を表現することができました。また、日々の自由時間には、スウェーデン刺しゅうや折り紙、工作、かるた作りなど、それぞれが好きな活動に取り組みました。生徒同士で刺激しあい、影響を受けあうことで、どんどん上達し、素晴らしい作品が生まれました。

この1年で作り上げたものを作品展として改めて一堂に展示することで、季節の移り変わりや友だちとの絆を再確認することができました。

